

(1) 水量・水質の状況

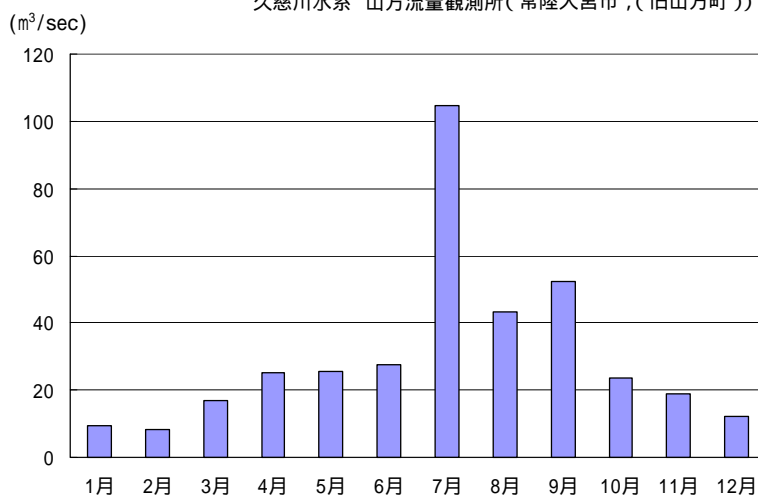
1) 河川流況

久慈川における近年10年間の流況は表5-1に示すとおりである。平成11年における流量変化(月別平均流量)では、夏期(7月)が最も多く、冬期(12月~2月)には流量が少なくなる。

表5-1 久慈川における流況(1989-1998の10か年平均値)

地点名	流域面積	流況 (m <sup>3</sup> /s)			
		豊水	平水	低水	渇水
山方	897.8 km <sup>2</sup>	23.85	14.62	9.92	5.93
榊橋上	1,422.0km <sup>2</sup>	40.66	27.10	20.38	14.58

久慈川水系 山方流量観測所(常陸大宮市,(旧山方町))



久慈川水系 榊橋流量観測所(日立市)

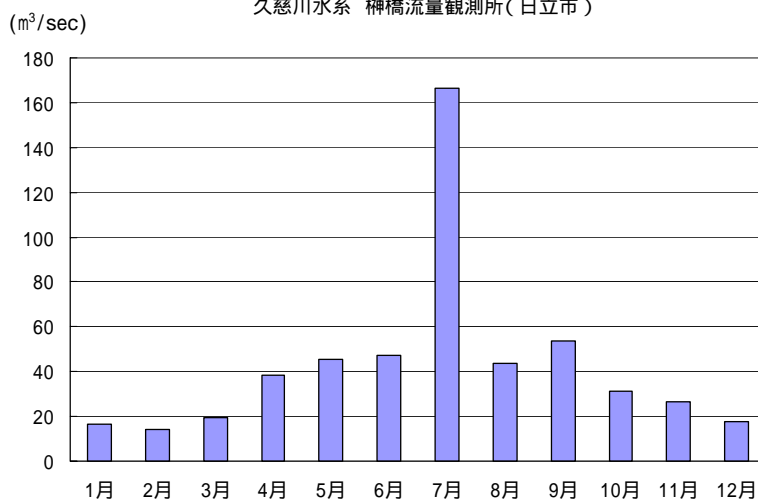


図5-2 久慈川流量変化図(平成11年)と観測所の位置図

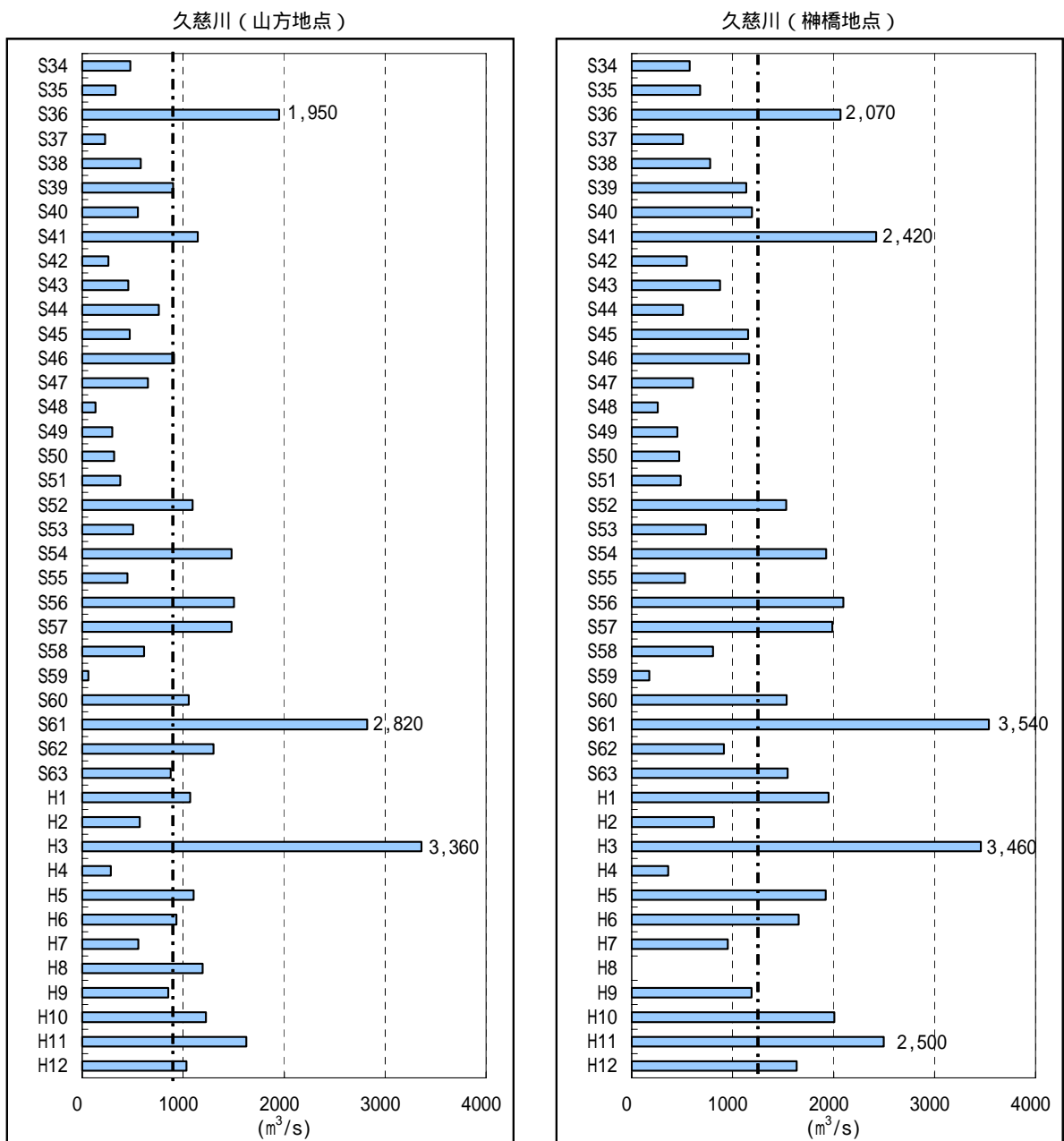
(国土交通省河川局,「流年年表 第52回 平成11年」より作成)

2) 洪水流量

久慈川の中流域における<sup>やまがた</sup>山方地点、及び下流域における<sup>さかき</sup>榊橋地点の昭和34年～平成12年の最大流量を図5-1に示した。

当該期間における最大流量の記録は山方地点で平成3年の3,360m<sup>3</sup>/s、榊橋地点で昭和61年の3,540m<sup>3</sup>/sである。

山方地点及び榊橋地点における平均年最大流量を算出すると、それぞれ900m<sup>3</sup>/s、1260m<sup>3</sup>/sとなる。昭和34年～平成12年までの42年間で、この平均年最大流量を超えた年はそれぞれ19回、16回であり、久慈川においても2～3年に1回の頻度で平均年最大流量を越えた出水が発生している。



---: 平均年最大流量 (山方地点900m<sup>3</sup>/s、榊橋地点1,260m<sup>3</sup>/s)

図 5-3 山方地点と榊橋地点の最大流量と平均年最大流量

3) 水質

久慈川の水質観測地点におけるBOD(75%値)(平成11年)を以下に示した。久慈川本川の万年橋地点、山方地点、榊橋地点においては0.7~1.0mg/lである。支川の玉川、浅川、山田川、里川においては1.0~2.4mg/lと久慈川本川に対してわずかに高い値を示している。

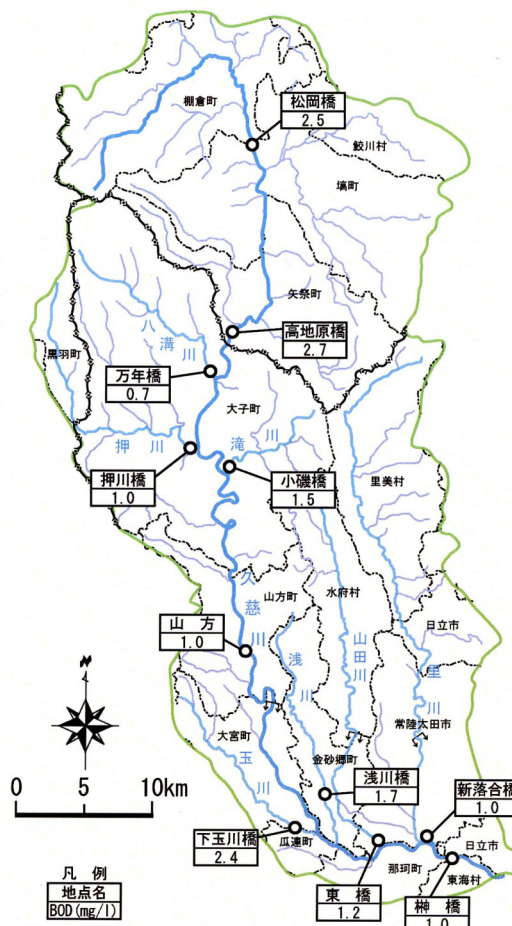


図 5-4 久慈川の水質観測地点における BOD 値 (平成 11 年)

図 5-5 に久慈川本川のBOD(75%値)の近30年間の経年変化を示した。上流の松岡橋から下流の榊橋の間において、概ねBOD値は1~3を示し、大きな変動がなく、環境基準に近い良好な値である。

最近、生活排水などで久慈川の水質汚濁も指摘されるが、BOD値でみる限り大きな変化ははい。久慈川の流域は農村型で大きな都市、工場群もないため今のところ良好な水質が保たれていると言える。

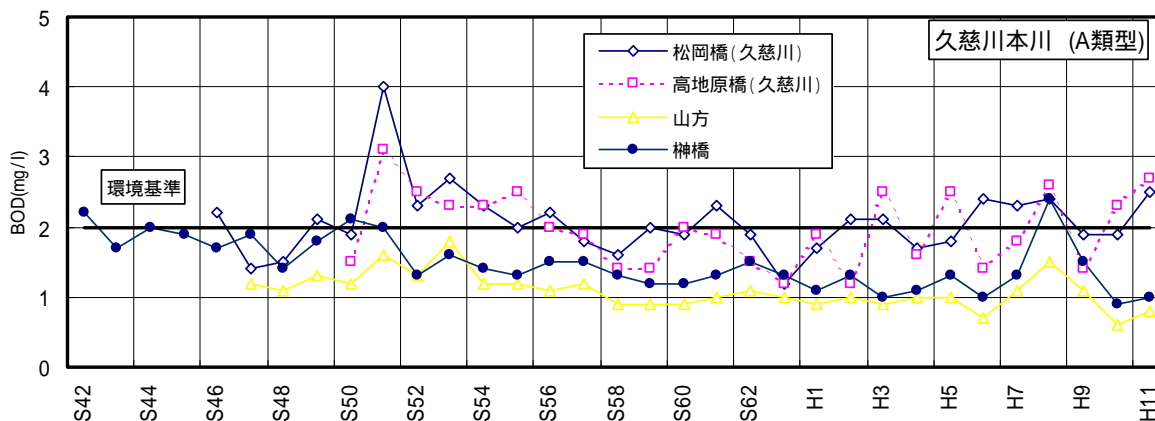


図 5-5 久慈川本川 BOD (75%値) 経年変化